

日中友好のしんぶん

日本と中国

東京版

認定特定非営利活動法人 東京都日本中国友好協会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-4 日中友好会館内 ☎03-3295-8241

ホームページ: <http://www.jcfa-tyo.net/> E-mail: to-nicchu@jcfa-tyo.net東京日中友好議員連盟
協議会設立総会開かれる

3月31日、都庁都議会棟会議室にて、40数名の都議会議員、特別区議会議員にお集まりいただき、規約、事業計画、役員それぞれの案は承認されました。本会の会長は友利春久都議会議員に決まりました。来賓としてご出席いただいた汪婉大使夫人は「国と国の間に困難な問題があるときこそ民間交流は大事でこれに行政、議会が加わり三位一体になったことに非常に大使館として心強いです。」と挨拶され、友利会長が「この協議会をつくるきっかけは毎春秋に首長と議連議員を招待いただいている中国大使館主催の〈錦秋の夕べ〉でございます。今回の協議会是个々の議連を横のつながりとしてもつていくことで、日中友好の輪が広がると考えました。東京の横のつながりを46道府県すべてに広げ、今後も日中友好に努めていきます」と決意表明されました。(松尾)



東京日中友好議員連盟協議会設立総会

6月10日(土)第3回総会を開催
2016年度(平成28年度)事業報告書

2016年(平成28年)4月1日から

2017年(平成29年)3月31日まで

はじめに

認定NPO法人東京都日中友好協会は、「日中不再戦」、「交流なければ友好なし」をモットーに東京都と北京市の友好都市提携のもと、草の根の交流を通じて日中友好交流活動を発展させるよう努力してまいりました。国際都市提携の理念は、様々な分野での市民交流こそが両都市の相互理解と友好を進展させ、平和につながるかとされています。

2016年8月、小池百合子都知事が圧倒的な都民の支持を受けて誕生しました。小池知事は、東京都と北京市の自治体レベルの様々な交流は、日本と中国の戦略的互恵関係を健全な形で発展させていく上で大変重要であると述べております。

同年11月、宇都宮徳一都知事を団長に北京市人民対外友好協会成立35周年祝賀記念訪中団は北京市を訪問し、北京東京民間交流写真展開式に出席したのち、北京市対友協との間で2017年の友好交流に関する7項目にわたる覚書を調印しました。両協会は、この年が日中国交正常化45周年であることを最大限に活かして引き続き文化・スポーツ・教育・青少年など伝統的交流活動を活性化すると同時に新しい分野での交流を積極的かつ効果的に進め、中日両国世代友好の後継者を育成することに合意しました。合意事項はすべて45周年記念事業といたしました。

同年12月、友利春久東京都議会日中友好議員連盟会長を団長とする東京都日中友好議員訪中団(26名、都議4名、特別区議員8区20名、随員2名)は、中国大使館の招請により北京・上海を訪問しました。北京滞在中、中日友好交流に臨み東京都及び特別区の友好都市(区)の幹部が一堂に会し、日中友好交流事業の実施状況と成果について熱心に意見の交換がなされました。

2017年3月11日、東京都日中友好協会による45周年記念交流を促進することを目的とする。協議閉会にあたり、初代会長に選任された友利会長は、都道府県自治体で初めてのこのような協議会が設置され、画期的な一つのモデルとなり、他の日中友好関係自治体に広がれば幸いと述べられました。

当協会にとっても、新たな地区協会設置が求められていますが、協議会と強く連携して協会組織の広がりをはかってまいります。

I 事業の成果(II参照) 組織の強化・財政の健全化に向けて

2016年度は、「認定NPO法人」2年目の年を迎えました。当協会への寄付は、確定申告で寄付金控除を受けられ、所得税などが軽減されるようになりました。この制度を活用して当協会の財政改善と持続的な組織安定基盤の確立に向け、会員をはじめ一般の市民、企業にご理解とご支援を仰ぎながら、役員一同熱心に取り組んでまいりました。さらに各事業の取り組みにあたりましては、財政強化事業が皆様の協力で展開されてまいりました。

おかげで昨年から2カ年続いて黒字決算となりました。これもひとえにご協力いただいた多数の会員・市民・法人の皆様のご支援とご協力のおかげと厚く感謝申し上げます。

2017年度において、組織・財政委員会等を中心に持続的協会運営を目指して、会員の皆様

のご協力を得てバランスの取れた健全な事業を進めてまいります。

組織・財政委員会(合同会議の実施)に加えて各委員会及び地区協会との密接な連携のもと組織拡大・財政強化事業を開催することとします。その一環として東京・北京市の友好都市提携発展に興味・関心を持つ外部人材を特任顧問及び日中友好青年大使に委嘱することとしました。とくに青年委員会事業を通じては、東京・北京、日中両国世代友好の後継者育成が求められています。

さらに設立された東京日中友好議員連盟協議会と連携して、地区協会の新設に努めます。特に、協議会加盟議員の日中友好活動の経験とリーダーシップに期待いたします。

II 事業の実施に関する事項

(一) 特定非営利活動に関する事業

・東京都・北京市友好都市提携の発展に関する事業

①市民交流訪中団

2016年度市民交流訪中団は、北京市人民対外友好協会の招請で11月3日〜8日まで宇都宮会長を総団長に総勢33人が訪中し、北京滞在中に「2017年度友好交流に関する覚書」調印式及び交流晩餐会、「北京・東京民間交流写真展」開幕式に参加した。

②北京市青少年キャバパン訪日団

通算24回目の北京市青少年キャバパン訪日団(訪日団としては14回

の取れた健全な事業を進めてまいります。

組織・財政委員会(合同会議の実施)に加えて各委員会及び地区協会との密接な連携のもと組織拡大・財政強化事業を開催することとします。その一環として東京・北京市の友好都市提携発展に興味・関心を持つ外部人材を特任顧問及び日中友好青年大使に委嘱することとしました。とくに青年委員会事業を通じては、東京・北京、日中両国世代友好の後継者育成が求められています。

さらに設立された東京日中友好議員連盟協議会と連携して、地区協会の新設に努めます。特に、協議会加盟議員の日中友好活動の経験とリーダーシップに期待いたします。

II 事業の実施に関する事項

(一) 特定非営利活動に関する事業

・東京都・北京市友好都市提携の発展に関する事業

①市民交流訪中団

2016年度市民交流訪中団は、北京市人民対外友好協会の招請で11月3日〜8日まで宇都宮会長を総団長に総勢33人が訪中し、北京滞在中に「2017年度友好交流に関する覚書」調印式及び交流晩餐会、「北京・東京民間交流写真展」開幕式に参加した。

②北京市青少年キャバパン訪日団

通算24回目の北京市青少年キャバパン訪日団(訪日団としては14回

浄土宗 梅窓院

住職 中島真成

〒107-0062 東京都港区南青山2丁目26-38

電話 03 (3404) 8447 (代) FAX 03 (3404) 8107

梅窓院ホームページ URL=<http://www.baisouin.or.jp/>

あしたの「笑顔」を創造する。

株式会社 ミノファーズ 製菓

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 TEL 03 (5909) 2323 (代)

前頁より続く

情で本年は中止

④北京市民青梅マラソン訪日団
11回目の北京市民第51回青梅マラソンは、呂奕团长（選手2人、引率3人）と共に2月17日來日。19日30km、10kmそれぞれ自己新記録で完走した。20日歓迎会では随行の李維建氏が来年の抱負を語り、21日無事に帰国に臨み、懇親会後大江戸ダンス、日本舞踊を楽しむ中国側からは合唱が披露され盛大な歓迎会となった。15日以降は都内散策、横浜中華街、箱根、富士山五合目、京都、大阪を巡って18日無事に帰国した。

⑤経済交流中小企業視察団
北京青年企業家訪日団は、王報換団長始め8名（内6名の青年企業家）は5月28日來日した。29日新橋亭で歓迎会が催されました。30日・31日は大田市場、大田区長表敬

訪問 小松はね工場、テクノエッジ、老人ホーム「ロケアメディカルホーム千鳥町」などを視察され、6月1日無事に帰国した。

⑥北京市石景山区政府代表団
北京市石景山区政府代表団は、岳徳順団長始め5名は4月12日來日して、都日中友好協会を表敬訪問して、2014年市民訪中団時の石景山区訪問での市民交流の対応に謝意を表し友好区板橋区・墨田区を含めた民間交流を深めていくことを約束した。

⑦北京市政府訪日団
李輝団長始め5名は10月11日來日した。12日は都庁、中国大使館をそれぞれ表敬訪問し、13日は東京都特別区長会、都日中友好協会を訪問して、夜、中国大使館主催「錦秋交流の夕べ」に参加し、14日帰国した。

⑧青年・女性及び北京市環境問題など具体的な目的を持った訪日団
・北京養老交流訪日団は、王智玲団長始め5名は10月17日來日し、17日・18日は大阪府日中友好協会の表敬訪問及び養老施設を視察、19日は都庁レストランにて歓迎交流会に臨んだ。20日は渋谷区を表敬訪問して、都内養老施設を視察して、専門的な討議を重ねて、21日無事に帰国した。

⑨ボランティア宅本事業
7月・3月まで不要に協会の表敬訪問及び養老施設を視察、19日は都庁レストランにて歓迎交流会に臨んだ。20日は渋谷区を表敬訪問して、都内養老施設を視察して、専門的な討議を重ねて、21日無事に帰国した。

⑩北京市障がい者高齢者へのカレンダー贈呈事業
12月・1月にかけて、日本の風景カレンダーを集めて北京市の高齢者施設へ贈る事業を行い、会員の皆様として大手企業から100本以上のカレンダーを寄付いただいた。①太極柔力球の普及・発展指導者講習会・普及講習会

北京から中国国家著名教練員王 学軍講師を招聘して、日本太極柔力球協会が行う国内での普及・振興を図るために実施される指導者養成講習会・普及講習会を11月、3月後援した。

⑪太極柔力球の普及・発展指導者講習会・普及講習会
北京から中国国家著名教練員王 学軍講師を招聘して、日本太極柔力球協会が行う国内での普及・振興を図るために実施される指導者養成講習会・普及講習会を11月、3月後援した。

2017年度(平成29年度)事業計画案

2017年(平成29年)4月1日から
2018年(平成30年)3月31日まで

はじめに

本年は、1972年の日中国交正常化以来、45年という重要な節目を迎えました。

この間、継続的な草の根の交流活動により、日中両国民の相互理解が醸成されてまいりました。

1979年には、東京都は北京市と友好都市提携を締結、両都市の交流は行政・議会・民間の広範にわたり新たな段階を迎えました。

都市提携の本旨は、people to peopleつまりさまざまな分野での市民交流こそが両都市の相互理解と友好を進展させ、そして平和につながるかとされています。

いうまでもなく、認定NPO法人東京都日中友

好協会の活動にとって、行政・議会・民間のご理解が非常に重要であります。

2014年4月に新たに都知事に就任した舩添要一知事は、王安順北京市長の招聘を受け北京市を訪問、東京・北京市都市友好交流の再構築について会談を行い、環境技術交流・産業・文化交流・東京オリンピック・パリリンピック・北京冬季オリンピック・パリリンピックへの協力等9項目の合意書を取り交わしました。実に青島幸男都知事の北京市公式訪問以来、18年ぶりの首長による北京訪問が実現されました。

同年11月に、安倍晋三総理は北京市を訪問し、習近平主席との日中首脳

訪問 小松はね工場、テクノエッジ、老人ホーム「ロケアメディカルホーム千鳥町」などを視察され、6月1日無事に帰国した。

⑫北京市障がい者高齢者へのカレンダー贈呈事業
12月・1月にかけて、日本の風景カレンダーを集めて北京市の高齢者施設へ贈る事業を行い、会員の皆様として大手企業から100本以上のカレンダーを寄付いただいた。①太極柔力球の普及・発展指導者講習会・普及講習会

北京から中国国家著名教練員王 学軍講師を招聘して、日本太極柔力球協会が行う国内での普及・振興を図るために実施される指導者養成講習会・普及講習会を11月、3月後援した。

⑬太極柔力球の普及・発展指導者講習会・普及講習会
北京から中国国家著名教練員王 学軍講師を招聘して、日本太極柔力球協会が行う国内での普及・振興を図るために実施される指導者養成講習会・普及講習会を11月、3月後援した。

⑭太極柔力球の普及・発展指導者講習会・普及講習会
北京から中国国家著名教練員王 学軍講師を招聘して、日本太極柔力球協会が行う国内での普及・振興を図るために実施される指導者養成講習会・普及講習会を11月、3月後援した。

⑮太極柔力球の普及・発展指導者講習会・普及講習会
北京から中国国家著名教練員王 学軍講師を招聘して、日本太極柔力球協会が行う国内での普及・振興を図るために実施される指導者養成講習会・普及講習会を11月、3月後援した。

⑯太極柔力球の普及・発展指導者講習会・普及講習会
北京から中国国家著名教練員王 学軍講師を招聘して、日本太極柔力球協会が行う国内での普及・振興を図るために実施される指導者養成講習会・普及講習会を11月、3月後援した。

⑰太極柔力球の普及・発展指導者講習会・普及講習会
北京から中国国家著名教練員王 学軍講師を招聘して、日本太極柔力球協会が行う国内での普及・振興を図るために実施される指導者養成講習会・普及講習会を11月、3月後援した。

交流等の手配は中日友好協会による）は、北京オリンピック関連施設の視察、中国外交部・全国青年連合会へ表敬訪問し、中日友好協会では「中日友好交流会」に参加しました。そこでは、北京市および東京の友好区の幹部と日中友好交流の現状と課題について討論しました。

この際、都区市町村の日中に係る議員連盟のこれまでに培った友好活動を一段と高めるとともに、横断的・組織的な展開を視野にいれて「東京日中友好議員連盟協議会」を設置することが3月31日に発起人代表の友利日中友好都議連会長招集の下、40数名の都・区議員出席の上承認されました。

私たちは、東京の議員の皆様の豊富な経験とリーダーシップに期待いたしまして、共に日中友好活動を進めてまいります。

（一）認定NPO法人として3年目を迎えた当協会にとつて、組織・財政基盤の一層の充実を図っていくことが求められています。そのため、地区協会の強化と新設に努めてまいります。そして様々な財政強化事業を実施します。

（二）東京都をはじめ、それぞれの自治体行政や議会・地区内各界との連携に努めて、活動事業の広がりを目指します。

（三）これらの基本方針を踏まえて、次の具体的な行動に取り組みます。

（四）活動の活性化をはかりながら会員の増加に努めます。引き続き、地区協会代表者会議を開催し情報交換を行います。

（五）都日中の主催する本年の覚書事業の実現はもとより、様々な日中友好交流事業を展開してまいります。

（六）認定NPO法人取得のメリットを生かし、都日中の存在感をアピールすると共に安定的な財政確立を目指します。

（七）来年は日中平和友好条約締結40周年記念、そしてその翌年は東京・北京友好都市締結40周年記念、さらにその翌年は東京オリンピック パラリンピックの年に当たり、各種記念事業の取り組み準備に入ります。

（八）東京都・北京市友好都市提携の発展に関する事業

①市民交流・訪中団
日中国交正常化45周年を記念するため、東京都日中友好協会と北京市

②日中友好協会女性友好交流の軌跡作成
女性部会では2015年が協会65周年記念として、日中友好協会女性友好交流の軌跡を作成するべく1年がかりで2016年6月に古島琴子氏を中心に完成させた。

③中国大使館での中国映画を鑑賞する会
中国語普及委員会主催で7月21日に中国語映画「梅蘭芳」の鑑賞会を中国大使館にて行った。参加者は108人。

④2017年日中女性新春の集い
春節を祝い中国大使館交えて友好交流に努める目的にて2月4日に集いを行った。

⑤政治、経済、文化、スポーツなど各分野にわたる交流促進事業

⑥第3回日中友好春季セミナー（東京）（中国大使館協力）は、協会若手と中国大使館の若手職員が親睦を深め日中友好のために自身何ができるのかを模索する目的で、6月18日・19日伊香保で開催した（中国大使館20人、日本側29人）。基調講演では汪婉大使夫人が両国の懸案事項に対する捉え方と若い世代への継承をお話され、6つのグループに分かれてディスカッションを行い、未来志向で進めていくことを決めた。参加者は64人。

⑦ランナー青梅マラソン訪日団を受け入れる。

⑧養老交流訪日団
東京都日中友好協会と北京市人民対外友好協会との「2017年度友好交流に関する覚書」に基づき、秋に北京で記念事業を行い、市民交流訪中団を派遣する。

⑨北京市青少年キャラバン訪日団
東京都日中友好協会と北京市人民対外友好協会との「2017年度友好交流に関する覚書」に基づき、中国からの養老交流訪日団を受け入れる。

⑩経済交流中小企業家視察団
東京都日中友好協会と北京市人民対外友好協会との「2017年度友好交流に関する覚書」に基づき、中国からの中小企業家視察団を受け入れる。

⑪北京市人民対外友好協会代表訪日団
東京都日中友好協会と北京市人民対外友好協会との「2017年度友好交流に関する覚書」に基づき、北京市人民対外友好協会代表訪日団を受け入れる。

⑫北京市ランナー青梅マラソン訪日団
東京都日中友好協会と北京市人民対外友好協会との「2017年度友好交流に関する覚書」に基づき、北京市ランナー青梅マラソン訪日団を受け入れる。

⑬北京市人民対外友好協会と好協会代表訪日団を受け入れる。

⑭友好都市提携発展に寄与する外部人材獲得事業

書式第13号 (法第28条関係)

2017年度(平成29年度) 活動計算書<予算>(案)		
2017年(平成29年) 4月1日から2018 年(平成30年) 3月31日まで		
認定特定非営利活動法人東京都日中友好協会		
(単位:円)		
科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
受取入会金	47,000	
正会員受取会費	3,700,000	
個人特別会費	280,000	
法人特別会費	620,000	
活動費助金	6,000,000	
受取会費計	10,647,000	
2 受取寄附金	900,000	
3 受取助成金等		
地方公共団体補助金収入	0	
民間助成金収入	0	
4 事業収入		
東京都・北京市友好都市提携事業	2,154,000	
中国事情に関する研究・紹介事業	20,000	
日本事情に関する紹介事業	0	
広報活動事業	1,000,000	
文化・スポーツ等各分野の交流促進事業	2,612,000	
会員訪中協力事業	100,000	
訪日団受け入れ事業	283,000	
中国語普及事業	1,958,000	
在日中国人との交流事業	1,461,000	
帰国者支援事業	150,000	
その他の活動収入収益	316,000	
事業収入計	10,054,000	
5 その他収益		
機関紙還付金収入	149,000	
本部会費還付金収入	25,000	
雑収入	50,000	
その他収益計	224,000	
経常収益計	21,825,000	
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	3,497,000	
福利通動費	1,123,000	
旅費交通費	200,000	
退職給与積立金	47,000	
人件費計	4,867,000	
(2) その他経費		
東京都・北京市都市提携事業	1,686,000	
中国事情に関する研究・紹介事業	7,000	
日本事情に関する紹介事業	0	
広報活動事業	1,803,000	
文化・スポーツ等各分野の交流促進事業	2,320,000	
会員訪中協力事業	0	
訪日団受け入れ事業	0	
中国語普及事業	1,359,000	
在日中国人との交流事業	1,461,000	
中国帰国者支援事業	150,000	
事務所賃貸料	1,553,000	
雑費	50,000	
その他経費計	10,389,000	
事業費計	15,256,000	
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	2,163,000	
アルバイト代	300,000	
福利通動費	125,000	
旅費交通費	200,000	
退職給与積立金	12,000	
人件費計	2,800,000	
(2) その他経費		
全国本部会費分担金	250,000	
顧問参与法人経費	100,000	
会費還付金	185,000	
東京版製作費	510,000	
事務所賃貸料	518,000	
水道光熱費	200,000	
事務用品費	50,000	
通信運搬費	300,000	
印刷費	150,000	
賃借料(事務機器リース料等)	260,000	
総会費	150,000	
会議費	50,000	
渉外費	100,000	
ホームページサーバー代	60,000	
雑費	650,000	
その他経費計	3,533,000	
管理費計	6,333,000	
経常費用計	21,589,000	
当期経常増減額	236,000	
当期正味財産増減額	236,000	
前期繰越正味財産額	2,895,301	
次期繰越正味財産額	3,131,301	

計算書類の作成は、NPO法人会計基準並びに東京都非営利活動法人ガイドブックによって作成。

東京―北京の友好都市提携発展に興味・関心を持ち、それぞれの固有の分野で高い業績又は学識を持つ外部人材獲得により友好活動の魅力を広め、支援者拡大を図るために特任顧問を置く。(任期2年間)

同様に上記趣旨を理解していただける方で、若手会員拡大を図るために35歳以下の日中友好青年大使(任期2年間)を置く。

⑨友好都市提携発展の活動に理解と共感を持つ法人対象に寄付金募集事業(目標10社)

法人向け協会活動紹介セミナー開催をして、観光・介護・医療・環境業界・在日中国企業への働きかけを行う。(目標10社)

⑩ボランティア宅本便事業

東京―北京の友好都市提携発展の活動に理解と共感を持つ外部賛同者らの協力で不要になった書籍・CDなどをブックオフ・コーポレーション社会貢献事業に売却して、協会に寄付金として納入する。

⑪北京市障がい者・高齢者施設への日本の風景カレンダー贈呈事業

からだの不自由になった北京市障がい者、高齢者に日本及び東京の風景カレンダーを都内法人企業(観光・介護・医療・環境)などから無償提供していただいて日本・東京を身近に感じてもらう。

⑫友好都市提携発展に資する民間助成金獲得事業

⑬太極柔力球の普及・発展指導者講習会・普及講習会

北京から中国国家著名教練員、規定套路創作者を講師として招き、

(一社)日本太極柔力球協会が行う指導者養成講習会・普及講習会を年2回の開催にあたり後援する。

1950年日中友好協会設立以来、女性たちが深めてきた交流の歴史を整理、編纂した昨年版に加筆追加、校正した冊子を増刷する。

⑤中国映画・ドラマを鑑賞する会

中国語普及の一環として、中国映画鑑賞会を中国大使館の提供で開催する。同様に中国ドラマなども鑑賞する。

⑥2017年日中女性新春の集い開催(女性部会)

中国の春節の時期に日中女性の交流、親善を目的に開催する。中国大使館、会員、友好団体の女性、民間の女性等が集い交流を深める。

⑦2017年日中女性フォーラムへの参加(女性部会)

日中国交正常化45周年を記念して日中双方の女性

性が参加し、意見交換、講演などを行い日中友好交流に寄与する。フォーラムと共に2年に1度の全国女性委員会総会に参加する。

Ⅱ 中国事情と文化の研究及び紹介に関する事業

①共同講座「中国問題を読み解く」(孔子学院との共催)

工学院大学孔子学院と共同で公開講座を夜、開催する。中国及び日中関係をあらゆる視点から観察、分析し、特に中国の政治体制、経済状況に焦点を当てて考察する。

②日中関係シンポジウム(孔子学院との共催)

都日中と工学院大学孔子学院等諸団体と共催で日中関係シンポジウムを開催する。

③研究者による中国を知る勉強会(女性部会)

中国の歴史、宗教、民族、現在の中国の人々の生活などについて実践活動している講師を招聘し

て勉強会を開催する。

④日中友好協会女性友好交流の軌跡改訂版増刷(女性部会)

1950年日中友好協会設立以来、女性たちが深めてきた交流の歴史を整理、編纂した昨年版に加筆追加、校正した冊子を増刷する。

⑤中国映画・ドラマを鑑賞する会

中国語普及の一環として、中国映画鑑賞会を中国大使館の提供で開催する。同様に中国ドラマなども鑑賞する。

⑥2017年日中女性新春の集い開催(女性部会)

中国の春節の時期に日中女性の交流、親善を目的に開催する。中国大使館、会員、友好団体の女性、民間の女性等が集い交流を深める。

⑦2017年日中女性フォーラムへの参加(女性部会)

日中国交正常化45周年を記念して日中双方の女

性が参加し、意見交換、講演などを行い日中友好交流に寄与する。フォーラムと共に2年に1度の全国女性委員会総会に参加する。

Ⅲ 日本事情と文化の中国への紹介に関する事業

①国際交流みこしを担ぐ会への協力

日本の伝統文化を紹介する取り組みとして、豊島区池袋で行われる「ふくろう祭り」の国際交流おみこしを担ぐ会に豊島区日中とのコラボで参加する。

②お花見ウォーキング

③施設見学会・訪問(女性部会)

中国の春節の時期に日中女性の交流、親善を目的に開催する。中国大使館、会員、友好団体の女性、民間の女性等が集い交流を深める。

④夏

都民に情報提供する。

②東京版制作等

東京都日中友好協会の活動を会員・都民に紹介するため、機関紙「日本と中国(東京版)」を年6回(タフroid版・ネット版)発行する。

③機関紙発送

機関紙を会員・都民に発送する。

④ホームページ制作・配信

魅力あるホームページを制作して協会の活動を広く一般の人々に提供するため、SNSによる仲間つくりによって組織活性化をはかる。

⑤国交正常化45周年写真展「中国と私、東京・北京交流の足跡と老北京写真集作成」

国交正常化45周年を記念して、写真コンテストを東京で開催する。並びに老北京写真集を作成して交流会を実施する。

⑥夏の経済セミナーと大学生発表会

首都圏の日中大学生に

よる日中の未来に向かっ

ての友好交流についてのパネルディスカッションのセミナーを開催する。

⑦社会貢献ボランティア活動

⑧日中街頭募金活動

⑨教宣活動

Ⅴ 政治、経済、文化、教育、スポーツ等各分野にわたる交流促進事業

①日中友好新年会

都日中と(公社)日中友好協会共催で恒例の「日中友好新年会」を開催する。

②東京日中友好議員連盟協議会活動協力

2016年末の東京都日中友好協議連の訪中国の成果を受けて、東京日中友好議員連盟協議会を設立し、中国事情の講演会や懇親会を実施して、未組地区協議連や未組織協会への取り組みを強化していく。

③アジアの祭典チャリティーバザーへの協力

中国大使館杯争奪第20回東京都日中友好囲碁大会(日中対抗)を中国大

使館の後援を受けて開催する。第2部として懇親会を開き、囲碁を通して日中双方の親睦・友好を深める。

⑦一人ひとりがメディアだ企画(青年委員会)

日中友好に携わる人たちと意見交換かつ講師として招聘して、それぞれが情報発信することで日中友好に関わる人を増やす。

⑧「第4回日中友好セミナー東京」の開催

中国大使館の協力を得て、組織強化及び若手中国大使館員と都日中青年委員会相互の理解を深めるために企画、実施する。

⑨「2017年錦秋交流のタベ」への参加・協力(中国大使館主催)

4回目の開催となる「2017年錦秋のタベ(中国大使館主催)」に参加、協力する。

⑩周恩来留学100周年イベント

千代田日中、千代田区観光協会と連携して、ゆかりの愛全公園の記念碑見学、中国物産展、写真展、講演会(明治大学)、懇親会を開催する。

⑪中国事情及び歴史、文化などについて理解を深めるための会員の中国訪問への協力

①第15回「見に行く会いに行く」(北京―黄龍)訪中国

中国の事情、歴史、文化を理解するための会員訪中国を北京市人民対外友好協会の協力で北京市での交流企画は都日中と婦人之友社が行う。

②「2017年東京都囲碁愛好者」会員訪中国

(成都市)

2004年から「東京都囲碁愛好者訪中国」を結成して、本年も実施する。

⑦ 日本事情に関する理解を深めるための中国からの訪日団受入れに関する事業

Ⅷ 中国語普及に関する事業

①青山教室

初級クラス

講師：島村泰子

②青山教室

中級クラス

講師：高立新

③全日本中国語スピーチコンテスト東京大会

④中国語ワンダーレス(春期)

⑤中国語ワンダーレス(夏期)

⑥日中友好新春かるた会

⑦中国語で包子つくりの会

Ⅸ 在日華僑並びに中国人留学生との交流事業

①第4回日中親善ゴルフ大会

②春節を祝う会(地区協会との共催)

③「大人の社会見学(工場見学)」

④第4回高尾山散策

⑤第3回健康麻雀を楽しむ会

Ⅹ 中国帰国者支援に関する事業

①残留孤児団体等の共催で会員と帰国者との交流を深めるため懇親餃子パーティーを実施する。

①第15回「見に行く会いに行く」(北京―黄龍)訪中国

中国の事情、歴史、文化を理解するための会員訪中国を北京市人民対外友好協会の協力で北京市での交流企画は都日中と婦人之友社が行う。

②「2017年東京都囲碁愛好者」会員訪中国

①残留孤児団体等の共催で会員と帰国者との交流を深めるため懇親餃子パーティーを実施する。

日中国交正常化45周年企画

3・11日中友好皇居マラソン大会に104名が参加



なった(うち8割が中国人で、在日マラソン愛好家同士)。当日は早朝の快晴の下、皇居・桜田門に集合、宇都宮会長の挨拶、斎藤文化交

3月11日、東京都日中友好協会は日中国交正常化45周年企画の第一弾として、「日中友好皇居マラソン大会」と講演会「孫文と梅屋庄吉」を同時開催した。

第4回常務理事会、第42回理事會行われる



第4回常務理事会、第42回理事會は、3月25日、新橋にて、杉本孝一郎議長のもと行われた。審議事項は6つあり、2016年度活動計画書速報では2期連続の黒字が見込まれること、

西東京市日中

武蔵野大学孔子学院との友好交流



武蔵野大学孔子学院は2016年4月1日開設、日本で14校目、都内4校目の孔子学院である。開設以来、当協会は

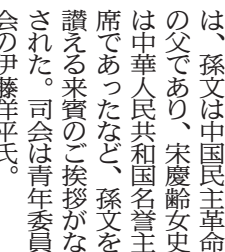
今年、4月2日には校の咲き誇る小金井公園にて孔子学院の先生方(天津外国語大学派遣)5名との懇親花見会を開催するなど積極的に友好を深めている。

3月11日、日比谷パークセンターにて、マラソン大会の表彰式兼昼食会があり、その後、梅屋庄吉のひ孫である小坂文乃さんの講演「孫文と梅屋庄吉」が70名の参加者を得て行われた。冒頭、宇都宮会長の開会の挨拶、続いて中国大使館・邵宏伟・一等書記官から

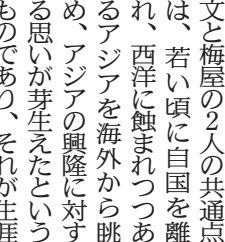
は、孫文は中国民主革命の父であり、宋慶齡女史は中華人民共和國名誉主席であったなど、孫文を讃える来賓のご挨拶がなされた。司会は青年委員会の伊藤洋平氏。



孫文・梅屋庄吉 講演会 松本楼・小坂文乃さんが講演



は、孫文は中国民主革命の父であり、宋慶齡女史は中華人民共和國名誉主席であったなど、孫文を讃える来賓のご挨拶がなされた。司会は青年委員会の伊藤洋平氏。



は、孫文は中国民主革命の父であり、宋慶齡女史は中華人民共和國名誉主席であったなど、孫文を讃える来賓のご挨拶がなされた。司会は青年委員会の伊藤洋平氏。

日本テレビ番組提供 毎週土曜日 9:30~10:30

家族が安心、セレモア共済

東京都日中友好協会ライフクラブ

特にお葬儀50%割引が経済的です。

入会金 50,000円のところ 入会金 45,000円のみ(税込)

年会費なし 月々の掛金なし

資料請求・お問合せ 0120-60-1121

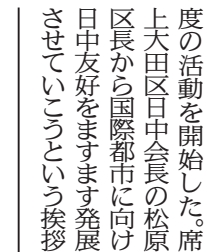
株主優待 株主優待 株主優待

葛飾区日中

葛飾区・豊台区友好記念樹 竜爪槐

葛飾区と北京市豊台区との友好交流は、1985年(昭和60年)に葛飾区議会日中友好議員連盟が豊台区を訪問したことからはじまりました。その後、行政や区民訪問団等の派遣と受け入れを積み重ね、交流を深める中で両区は、1992年(平成4年)に友好都市提携を締結しました。

この竜爪槐は、1995年に、葛飾区と豊台区の友好交流10周年を記念して、来訪した豊台区友好訪問団により植樹されたものです。



今後、葛飾区は、両区の友好を末永く暖かく見守ってくれることと思います。



は、観光案内をテーマに立新先生が担当し、前半はピンインと四声の練習を行いました。日本人が間違えやすい、有気音と無気音の特徴を実際の単語に即して丁寧に教えていただきました。後半は、観光案内をテーマに

大田区日中

帰国者と花見の会

4月1日、大田区日中は中国帰国者や帰国二世の仲間と、毎年恒例の花見の会を開催しました。当日はあいにくの雨で、会場隣接の集会所で50名参加の室内交流会に切り替わりました。当日は世界で一番清潔な羽田空港を現実的に支えている、NHKテレビでも有名な清掃プロの新津春子さん一家も参加され、それぞれが持ち寄った中国家庭料理を囲んで歌あり、踊りありの楽しいひと時を過ごしました。



は、観光案内をテーマに立新先生が担当し、前半はピンインと四声の練習を行いました。日本人が間違えやすい、有気音と無気音の特徴を実際の単語に即して丁寧に教えていただきました。後半は、観光案内をテーマに

新春のつどいを開催



は、観光案内をテーマに立新先生が担当し、前半はピンインと四声の練習を行いました。日本人が間違えやすい、有気音と無気音の特徴を実際の単語に即して丁寧に教えていただきました。後半は、観光案内をテーマに

2017年春期中国語ワンデーレッスン

さんが楽しく勉強されていることを実感しました。基礎クラスは、島村先生と許堅先生が担当し、「想・要・打算」を使用し、先生が伝えた例文を参考に練習を行いました。日本の歴史や文化などについて学びました。

2017年春期中国語ワンデーレッスン

さんが楽しく勉強されていることを実感しました。基礎クラスは、島村先生と許堅先生が担当し、「想・要・打算」を使用し、先生が伝えた例文を参考に練習を行いました。日本の歴史や文化などについて学びました。